

# チャペル週報

No.17

2012.10.8 ~10.12

泣きながら夜を過ごす人にも、  
喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。

(詩編30編6節)



神戸三田キャンパス I号館

関西学院宗教センター

---

## ☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 10月8日(月) 神 中 道 基 夫 (神学部教授)  
経 学生生活オリエンテーションⅡ ①  
人 音楽チャペル ゴスペルクワイア P.O.V.  
聖和 聖書物語「イエスの洗礼・最初の弟子」
- 
- 10月9日(火) 神 土 井 健 司 (神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 動詞シリーズ「生きる」⑤ 岩 野 祐 介 (神学部准教授)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーションⅡ ②  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 王 昱 (国際学部准教授)  
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
総 伊佐田 百合子 (総合政策学部准教授)
- 
- 10月10日(水) 神 能 勢 岳 史 (神学部D3)  
社 秋の音楽チャペル① 聖歌隊  
法 English Chapel Christian M. Hermansen (宣教師)  
経 学生生活オリエンテーションⅡ ③  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
人 前 川 裕 (同志社大学嘱託講師)  
国 上ヶ原ハビタットの皆さん  
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
理 「安息日」松 木 真 一 (宗教主事)  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
- 
- 10月11日(木) 神 <震災を覚えて⑥> 神学部メガホンプロジェクト  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 秋の音楽チャペル② ゴスペルクワイア P.O.V.  
法 音楽チャペル 聖歌隊  
経 学生生活オリエンテーションⅡ ④  
商 太 田 直 宏 (岡山YMCA総主事)  
国 高 誠 (在日大韓大阪教会伝道師)  
聖和 一歩スマイルプロジェクト報告「七ヶ浜から～東日本大震災から一年半を経て～」  
総 福 島 杏 子 (総合政策学科3年生)
- 
- 10月12日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)  
神 東 よしみ (神学部助教)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーションⅡ ⑤  
人 木 村 愛 (経営戦略研究科職員)  
聖和 実習報告「施設実習を終えてⅡ」  
理 オムリ・ブージッド (総合政策研究科研究員)
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)  
10月12日(金) 理工学部のために 加 藤 知 (理工学部長)

---

# 青森生活 8 年 — 私の知らなかった日本 —

本 郷 亮

都会から出たことのない人間が地方で 8 年も暮らせば、考え方に多少の迷いが生じるのも当然である。大阪人である私は、32 才で弘前学院大学（青森県）に赴任するまで、大阪という色眼鏡で日本を見ていた。色々な面でそうだった。例えば日本の社会経済を語るとき、私の言う「日本」とは「拡大された大阪」のようなものに過ぎなかったし、日本文化を語るときもそうだった。都会のスタンダードをなんとなく全国共通の規範と見なし、それを真に疑うことはなかった。むろん各地の多様性は、「書物」で知っていたが、それは腹の底からの実感を伴うものではなかった。

戦後最長の好景気（「いざなぎ越え」）をもたらし、都会で圧倒的人気を誇った小泉純一郎首相も、青森県にとっては戦後最悪の首相だろう。青森人が小泉改革を褒めるのを、私は聞いたことがないし、青森のメディアが彼を好意的に論評することなど、ちょっと考えにくい。TPP についても、とても賛成論を唱えられるような雰囲気ではない。

青森には陸海空の三軍の基地が揃っており、私の子どもの通っていた幼稚園の向かいにも弘前駐屯地（陸自）があった。朝にはラッパが鳴り響く。そこでは毎年、実戦さながらの公開演習（実弾は使わない）を間近で見物できる。ヘリが飛んできたかと思えば、ロープを伝って迷彩服の隊員たちが空から次々と降りてくる。原っぱに伏せた隊員たちによる機関銃の掃射音。それから戦車砲の轟音。子どもたちは大喜びだ！演習後には、戦車の上に登って記念撮影。また市の大通りでは毎年、軍事パレードがおこなわれる。

弘前では自衛隊はかなり人気の就職先である。私は市内の酒場に行くときは、いつも店の主人に「最近どんな客が多いですか」と尋ねるようにしていたが、答えはきまって教員・公務員・軍人だ。これは一体何を意味するのか。

最後に次のことを強調しておきたい。私は青森人を批判しているのではない。むしろ迷っている。青森人から見れば、私の考えこそが「異質」だろう。津軽三味線や畑仕事など、学んだことも多い。今年、8 年ぶりに母校関西学院大学に帰ってきたが、青森で暮らして、社会科学の研究者として一皮むけたことは、間違いない。

（経済学部准教授）

## ●第191回ランバス演奏会のご案内

リコーダー・アンサンブル「レアル」コンサート

と き：10月8日(月) 17:30 開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

「レアル」は本学応援団総部吹奏楽部の卒業生が中心となって1997年に結成されたアンサンブルです。リコーダーだけでなくチェンバロ、パンフルートなど多彩な編成で様々な時代、ジャンルの音楽に取り組んでいます。

## ●秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：10月8日(月)～12日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

## ●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行なわれます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

10月14日(日)、28日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを実施しています。(18:00～18:20 1405教室)

10月12日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

10月19日(金) 田淵 結(宗教総主事)

10月26日(金) Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)

## ●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月23日(火)、11月20日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。(学生証等証明書必要)

## ●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

## ●盲導犬育成のための募金にご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館はじめ各学部カウンターに募金箱を設置しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。